

各地域における主要な取組の進捗状況について

【安芸地域本部】

【5段階の進捗評価】

S : 進捗率100%以上

C : 進捗率 60%以上75%未満

A : 進捗率 90%以上100%未満

D : 進捗率 60%未満

B : 進捗率 75%以上90%未満

— : 評価不可 (目標未達を含む)

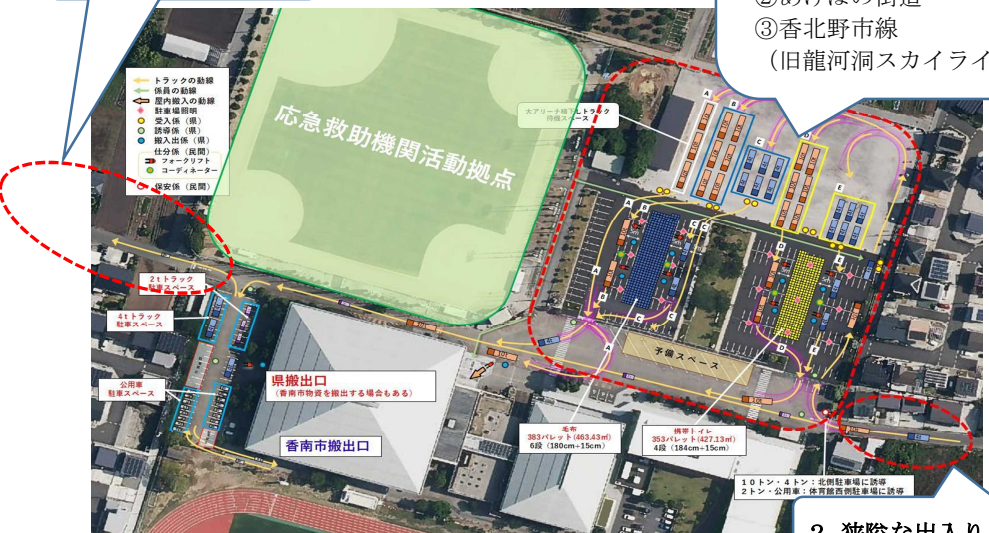
主要な取組名	これまでの実績 [累計実績/最終目標]	令和4年度の取組		当年度 末の進 捗見込 (R4.11)
		目標	取組の概要及び進捗状況	
震災に強い人づくり 防災教育の充実強化による 自助・共助のさらなる推進	1市1町の小学校2校、 中学校1校で計4回の 防災授業を実施 (R3)	管内の9市町村におい て、小中学校を対象と する防災授業を各1回 以上実施 (計9回)	<p>【取組概要】 管内小中学校の児童・生徒を対象に防災授業を実施し、幼い頃から防災に関する知識を学習することで地域防災力の向上を図る。また、建設業活性化プランに基づき、土木部が実施する小中学校での出前授業に協力し、防災に関する授業を受け持ち、防災意識の啓発を行う。</p> <p>【進捗状況】 1市1町の小学校3校、中学校3校において計7回の防災授業を実施 (R4.10)。※対前年比：学校数4校増、授業回数約倍増</p> <p>【今後の方向性】 本年度からの新規事業として取組を開始したものであるため、管内市町村や小中学校の意向を確認しながら、来年度以降の実施目標について検討する。 地域の核となる学校で防災教育の充実を図ることで、地域防災力を下支えする人材の育成と、子どもたちはもとより若い親世代にも防災意識を浸透させ、学校から家庭へと日常の中に防災を取り込み、防災を文化として根付かせることを推進する。</p>	A

【中央東地域本部】

【5段階の進捗評価】
 S：進捗率100%以上
 A：進捗率 90%以上100%未満
 B：進捗率 75%以上90%未満
 C：進捗率 60%以上75%未満
 D：進捗率 60%未満
 -：評価不可（目標未達を含む）

主要な取組名	これまでの実績 [累計実績/最終目標]	令和4年度の取組		当年度末の進捗見込 (R4.11)
		目標	取組の概要及び進捗状況	
総合防災拠点における物資 配送業務の取組強化 2. 狭い出入り口 ・西出口交差点の拡幅	物資配送マニュアルを 策定し、毎年度の訓練 通じてマニュアルの内容 を検証 [県の備蓄物資及び国の 支援物資の効率的な 配送を行う]	・職員の対応能力向上 ・県立青少年センター における物資配送の 課題への対応 1. 駐車スペースの不足 (大型120台・4t車350台/日) ・臨時駐車場の確保 ①龍河洞駐車場 ②あけぼの街道 ③香北野市線 (旧龍河洞スカイライン)	[取組概要] ・対応能力向上に向けた説明会及び訓練の実施 ・県立青少年センターの立地条件に応じた、トラック受入環境の検討 [進捗状況] ・物資配送業務の内容について説明会を実施 ＊3回開催(4～5月)、参加者39/48名(参加率81.2%) ・少人数での拠点開設訓練及び物資配送手順確認訓練を実施 ＊開設訓練：4回開催(5～6月)、参加者36/48名(参加率75.0%) ＊手順確認訓練：4回開催(6～9月)、参加者40/48名(参加率83.3%) ・大型トラックを用いた物資配送訓練 ＊11/7開催、参加者29/48名(参加率60.4%) ・毎月資機材点検を実施(10月末進捗：7/12回) ・東側交差点でのトラック滞留を未然に防止するため、トラック臨時 待機場所の候補地を選定 ・西出口交差点の拡幅計画を作成 [今後の方向性] ・訓練で出た課題をマニュアルに反映し、全支部要員に共有する ・西出口交差点における地元調整	B

2. 狭い出入り口
 ・西出口交差点の拡幅



2. 狭い出入り口

【中央西地域本部】

【5段階の進捗評価】
 S：進捗率100%以上
 A：進捗率 90%以上100%未満
 B：進捗率 75%以上90%未満
 C：進捗率 60%以上75%未満
 D：進捗率 60%未満
 -：評価不可（目標未達を含む）

主要な取組名	これまでの実績 [累計実績/最終目標]	令和4年度の取組		当年度末の進捗見込 (R4.11)
		目標	取組の概要及び進捗状況	
地域津波避難計画の充実と実効性の向上	避難場所の整備 [48/48 箇所(避難タワー3基含む)・100%] 避難路の整備 [対策推進区間対策済7/53 区間・13.2%] 避難場所への資機材整備 [44/48 箇所・93.8%] 個別避難計画の作成 [津波浸水想定区域同意取得者策定176/177名・99.4%] 津波災害警戒区域（イエローゾーン）の指定・公示 (R4.3.25) 南海トラフ地震臨時情報発表時の事前避難対象地域の設定 (R1.12)	・避難場所は十分か ・避難路は安全に避難できるか →液状化の対策方針決定(管内1/1市・100%) ・津波収束まで避難場所に滞在できるか 検証を進める → 南海トラフ地震臨時情報に係る防災規程（対策計画）の見直し [27/29 事業者・93.1%]	[取組概要] ・各種訓練の実施 ・避難の支障となる要因の解消 ・避難場所への資機材の整備 [進捗状況] ・臨時情報に係る防災規程（対策計画）の見直し [29/29 事業者・100%] ・津波避難対策に係る土佐市との協議（7/24） ・自主防災組織による避難訓練の実施（10/30） ・避難路の液状化対策に係る勉強会（7/27、9/21） ・避難場所および資機材整備の現地確認（9/9） [今後の方向性] ・避難訓練等を踏まえ、避難困難者を含めた住民全員が確実に避難するための避難場所が足りているか検証を進める ・これまでのブロック塀撤去等の対策に加え、避難路の液状化による影響の検証を行うとともに対策方針を決定し、安全に避難するための対策に不足がないか検証を進める ・避難場所に一定時間滞在する訓練を実施（1月下旬～2月中旬）し、津波収束まで滞在できる環境が整っているか検証を進める	A

【須崎地域本部】

【5段階の進捗評価】

S：進捗率100%以上

C：進捗率 60%以上75%未満

A：進捗率 90%以上100%未満

D：進捗率 60%未満

B：進捗率 75%以上90%未満

－：評価不可（目標未達を含む）

主要な取組名	これまでの実績 [累計実績/最終目標]	令和4年度の取組		当年度 末の進 捗見込 (R4.11)
		目標	取組の概要及び進捗状況	
市町村における個別避難計画の実行性を高めるための訓練などの取組及び作成への支援	<p>計画作成率 90.9% [501/551件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 ：186/206件・90.3% ・中土佐町 ：96/120件・80% ・四万十町 ：219/225件・97.3% 	<p>計画作成率 100% [551/551件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市：20件 (206/206件・100%) ・中土佐町：24件 (120/120件・100%) ・四万十町：6件 (225/225件・100%) <p>いずれも同意者数に対する割合</p>	<p>[取組概要] WGを通じた作成支援を実施（須崎市3回、中土佐町2回、四万十町2回） 須崎市：年度当初に要配慮者へのタクシーチケット配布事業を活用した計画作成を実施。在宅介護の方の同意取得・新規作成について、福祉専門職への委託を検討。 中土佐町：計画の更新や実行性向上の訓練を地域主体で取り組めるよう、自主防災組織を対象に説明会を実施。 四万十町：より実行性の高い計画とするため、自らの避難が厳しい要配慮者に対し、地域の方（2～3名）が支援する取組や訓練を実施（R3志和地区、R4興津地区）。</p> <p>[進捗状況]9/30現在（実績値/目標値） 須崎市：207/206件（100.5%）、WG5/6、7/27 中土佐町：113/120件（94.2%）、WG8/4、上ノ加江地区個別避難訓練6/16 四万十町：207/225件（92%）、WG7/28 ※実績値は、新規作成や本人死去により増減がある。</p> <p>[今後の方向性] 須崎市：福祉専門職等への委託（新規作成：200件）に向け、協力を得られる福祉事業所等との協議。 中土佐町：自主防災組織による計画の更新や訓練が行えるよう、引き続き説明会を実施。 四万十町：興津地区における個別の避難訓練による計画の実行性向上（12/3及び1月～2月の2回実施予定）。</p>	S

【幡多地域本部】

【5段階の進捗評価】
 S：進捗率100%以上
 A：進捗率 90%以上100%未満
 B：進捗率 75%以上90%未満
 C：進捗率 60%以上75%未満
 D：進捗率 60%未満
 -：評価不可（目標未達を含む）

主要な取組名	これまでの実績 [累計実績/最終目標]	令和4年度の取組		当年度末の進捗見込 (R4.11)
		目標	取組の概要及び進捗状況	
1 避難行動要支援者の個別避難計画作成	浸水区域における個別避難計画作成率 (R4.3.31時点) 61.5% [260/423件] ・宿毛市 : 82件/155件・52.9% ・大月町 : 10件/75件・13.3% ・土佐清水市 : 168件/193件・87.0%	浸水区域における個別避難計画作成率 95.5% [404/423件] ・宿毛市 : 54件 (136件/155件・87.7%) ・大月町 : 65件 (75件/75件・100%) ・土佐清水市 : 25件 (193件/193件・100%)	[取組概要] ・個別避難計画作成率が低い宿毛市、大月町及び進捗の停滞している土佐清水市について、市町と県の防災・福祉担当部署による連絡会を、地域本部が事務局を担い各市町で実施 ・進捗状況や課題、次回連絡会までの取組目標等を共有し、個別避難計画作成を支援 ・R4.10.31時点で各市町3回、年度末までに土佐清水市5回、宿毛市及び大月町4回実施予定 [進捗状況] (R4.10.31時点) ・宿毛市 : 24件作成 (106件/155件・68.4%) ・大月町 : 40件作成 (50件/75件・66.7%) ※R3~4年度に名簿精査を実施。ワクチン接種会場での聞き取り等も実施し計画作成 ・土佐清水市 : 0件 (168件/193件・87.0%) ※年度前半で名簿更新済、11月末まで地域住民へ計画作成依頼中 [今後の方向性] ・市町との連絡会を通して個別避難計画作成については一定の目処が立っている ・一方で、作成した個別避難計画の更新及び計画を活用した訓練の実施による計画の実行性の向上が課題 ・今後は、作成済の計画を更新する仕組みづくりや、個別避難計画に基づく訓練実施を支援	A
2 住宅の耐震化及び避難路の安全確保対策の支援	住宅の耐震化 (R4.3.31時点) ・大月町:9/161件・5%	○住宅の耐震化 29/161件・18% (R3実績:4件) 【R4年度目標】 ・ブロック塀耐震対策 15件 (R3実績:4件) ・老朽住宅除却 8件 (R3実績:4件) ・空き家活用 4件 (R3実績:1件)	[取組概要] ・住宅耐震化目標の進捗状況が県内で最も低い大月町に対して先進事例の紹介等働きかけを行った。 ・R3年度末に住宅耐震化補助要綱の改正による申請手続きの簡素化や工務店と診断士等を対象とした勉強会を開催し、R4年度も勉強会を開催した。 ・津波避難路の個別訪問を実施した。(完了) [進捗状況] (R4.9.30時点) ○住宅の耐震化 20/161件 : 12% (完了6件、申請5件) ・ブロック塀耐震対策 5/15件 : 33% ・老朽住宅除却 8/8件 : 100% ・空き家活用 3/4件 : 75% [今後の方向性] 課題となっている制度の周知について、町外の工務店や診断士等への声かけや勉強会の開催を通して住宅耐震化促進事業等の促進を支援する。	D